

# 美川っ子

R2. 5.20 文責 岡田憲明

## 学校再開-学びの保障

5月11日(月)から、浜田市内のすべての小中学校において学校が再開されることになりました。どこで過ごしていても、100%の安全(感染リスク0)ということ、保障することはできません。より大きな安全ということから考えると、家から一歩も外に出ず、人とも接触することを避け、一日中、日差しを浴びることもなく過ごすことがよいのかもしれませんが、しかし、そのような生活は大変難しいことで、別の弊害もたくさん抱えることとなります。

そして何よりも、「子どもたちの学びの保障」「心身の健康」という観点からいうと、もうこれ以上現段階で学校を休業させることは難しいという判断がなされ、国の指示を受け、浜田市でも学校再開へと方向転換することが決定されたところです。

再開にあたっては、「学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ段階的に実施可能な教育活動を開始し、その評価をしながら再開に向けての取り組みを進めていく」という考えが示されました。学校再開にあたっての具体的な方策も文科省から提示されたところです。学校で配付した便りでも触れていますが、改めて広くお知らせして、地域・家庭・学校と一体となって今後の生活を進めていきたいと考えています。文科省からの提言について以下に記します。

- 家庭と連携した毎朝の検温及び風邪症状の確認を徹底する
  - ・ ご家庭で(ご家族みなさんで)検温や体調確認に取り組んでいただき、何か変わったことがあれば、学校にもご連絡ください。
- 学校での登校時、給食の前後、外から教室に入るとき、トイレの後といった機会でのこまめな手洗いを徹底する
- 多くの児童生徒の触れる場所や共用の教材、教具、情報機器などを適切に消毒するとともに、触る前後で手洗いを徹底する
- 児童生徒や教職員がマスクを着用する
- 教室における3つの密を避ける
  - ・ 気候上可能な限り、可能であれば2方向の窓を同時に開けて行う。
  - ・ 当分の間、児童生徒の席の間に可能な限り距離を確保し、対面とならないような形とする。

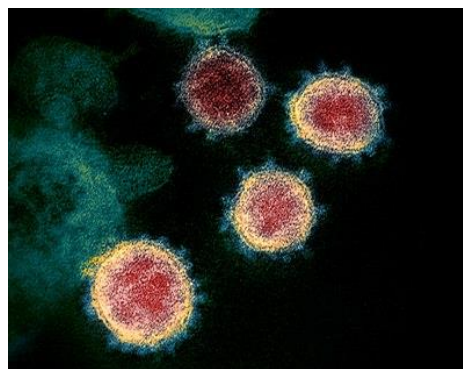
以上のようなことを、子どもたちとも情報を共有しながら、自らこのような行動をとることができるように指導を進めているところです。

人類の歴史は、ウイルスとの共存と戦いの歴史であったということもできます。ウイルスとの戦いに生き残ったからこそ、現在の人類の繁栄があります。何年(何十年、何百年?)かに一度、新しいウイルスとの戦いが必ず訪れます。(グローバル化に伴い、その間隔が狭くなってきているようにも思います。)これから生きる子どもたちに、ウイルスと上手に付き合う付き合い方、戦い方を身

につけさせることは大変重要なことです。

ウイルスの特徴を理解し、それに打ち勝つための行動をとることができるように指導を進めていきたいと思ひます。

コロナウイルスは、インフルエンザを引き起こす、インフルエンザウイルスなどと同じウイルスの仲間ですが、今までのウイルスとは違った特徴も持っています。左の写真はコロナウイルスを拡大したものです。名前の由来にもなったように、本体の周りに王冠(コロナ)のような突起がたくさんついています。



<コロナウイルスの画像>

この突起が、様々なものにしがみつき、2~3日感染する力を残したまま付着していることが今までのウイルスとは異なるところです。今までのウイルス(例えばインフルエンザウイルス)は、(ウイルスは自分だけでは生きられず増殖もできないため)生き物の体内に入り込むことができなければ死んでいました。しかし、コロナウイルスは周りの突起で、物にへばりつき、何日間かは生き残っています。そこが、非常に厄介なところです。

その厄介な特徴への対策として、教職員で手分けをして、子どもたちが下校した後、触る可能性がある場所(戸の手が触れるところ、机、水道の蛇口、トイレの中など...)を消毒しています。

そして、コロナウイルスの本体部分は、石鹸などの成分に弱く、石鹸で洗うと溶けてしまうという特徴も持っています。だから、ウイルスがついたかもしれない手を洗うということが予防に有効なのです。こういったことをきちんと理解をしていくことが、これからの世の中を生きていく子どもたちには必要なことだと考えています。また、子どもたちの学びの保障という観点からいうと、仮に再び休業するようなことが生じても、「自ら学ぶことができる」力を身につけさせることが必要であると強く感じました。学校での学習の中でも、そういった「自ら学ぶ力」を身につけることを意識して指導に当たっていききたいと思ひます。

- 学校では教科書を使って学習をしています。教科書はたくさんの方がかかわって、「子どもたちがそれを手がかりに、学習を進めることができる」ように配慮され作り上げられたものです。子どもたちが、その優れた教材(教科書)の特性を知り、使い方(利用の仕方)を身につけることができれば、「自ら学び、自ら力を伸ばす」ことができるはずです。
- すべてを正解にすることを求めるのではなく、自ら学ぶことを通して、力をつける態度を身につけることが大切です。そのほかにも、ノートの使い方なども、自分で学習を進めることができるようにするためには必要なスキルです。
- 子どもたちが学校に登校することができるようになり、やっと教育が再開されたところです。
- 今、子どもたちに「自ら学ぶ力」を身につけさせることができるように指導を進めていきます。
- ここで身につけたことは、きっと学年が進んだり、中学校、高等学校、さらに上の学校へと進学したりした時にも、役に立つ力となるのではないのでしょうか。



# メディアコントロール

## ウィーク

浜田市では、すべての中学校区で、小中連携教育に取り組んでいます。小中連携教育ではいくつか目標を挙げて、活動に取り組んでいます。その中の一つに『各中学校区で一体となって生活習慣づくりをめざす』というものがあります。その成果を把握するために、小学校6年生と中学校3年生へのアンケートで、「2時間以上テレビゲームをする子どもの割合」「普段、1日あたり1時間以上家庭学習する子どもの割合」を調査してきました。徐々に改善傾向がみられていましたが、昨年度再び増加傾向が見られました。



四中校区でも、メディアとのつきあい方については大きな課題となっています。これからの社会、スマホやパソコンなどを避けて生きていくことは不可能です。

スマホやパソコンは、人間の生活を便利にしたり、豊かにしたりするために生み出されてきたものです。20年前のことを振り返ってみても、このような技術が、すべての人々の生活の中に浸透するとは思いませんでした。この「学校だより」も、パソコンで作っていますが、こんなに簡単に画像を取り込んだり、飾り文字を入れたりできる日が来るとは……。本当に便利です。便利な道具を便利に使うためには、いくつかスキルが必要です。ネチケット（ネット上のエチケット）のような、心の持ち方も学んでいくことが必要です。息抜きや楽しみも必要ですが、深みにはまらないような（コントロールされた）お付き合いの仕方学ばなければなりません。

もともと道具なのですから、便利に使いこなすことが大事です。メディアとのよりよいお付き合いの仕方考える。そして、目標を立てて実践してみる。そういったことに取り組むことができる期間にしてほしいと願っています。

P T Aの事業として続いてきたことです。今回も、実施にあたってアドバイスをいただきました。今年度最初のメディアコントロールウィークでした。ご家庭で取り組んでみられた感想はいかがでしたでしょうか？

# マスクを寄付して いただきました

学校再開にあたっての留意点として「教職員も児童生徒もマスクをつける」という事項がありました。マスクの需要の増加に伴い、マスクがなかなか手に入らない昨今です。様々なものを活用して、マスクを作ってくださいというご家庭もたくさんです。ありがとうございます。

こういう大変な時に、田橋町の縫製会社「ソーイング中村」の中村敏彦様が、子どもたちのために、とてもかわいらしいマスクを寄付してくださいました。一人当たり2枚ずついただき、子どもたちのほうに配付させていただきました。しっかりとした作りで、デザインもかわいらしく、リバーシブル



となっていて、次の日からつけて登校した子どもたちもたくさんいました。（美川幼稚園、浜田四中にも贈られたそうです。）



地域の皆様に支えられて、美川小学校の日常が成り立っているのだということに改めて感じました。中村様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

## 田植え（5年生参加）



5月15日（金）、浜田四中の田植えに、本校5年生も参加させていただきました。以前は、美川小学校も独自に田んぼを借りて稲を育ててい

たようですが、近年は、5年生が浜田四中の稲作に参加させていただいています。今年は、美川幼稚園の皆さんも一緒に田植えとなりました。このような時期ですので、3密を避け、マスクをつけての作業となりました。頼もしい中学生も一緒に田植えですが、地域の皆様にも、お手伝いをいただきながら、田植えを進めました。このような時世ですが、子どもたちのために、地域に伝わっていることを、伝えていきたいという皆さんの思いが伝わってきました。四中校区では、地域の皆様の熱い思いに支えられながら、教育活動が進められていることをいつも感じています。ありがとうございました。

## 6月の主な行事

- 4日（木）SC訪問日、外国語（ALT）
- 5日（金）委員会⑥
- 11日（木）外国語（支援員）
- 12日（金）クラブ⑥
- 15日（月）PTA街頭指導開始
- 18日（木）外国語活動（ALT）
- 19日（金）クラブ⑥
- 23日（火）メディアコントロールウィーク開始～29日  
ラブック号
- 25日（木）SC訪問日、外国語活動（支援員）
- 26日（金）委員会⑥、栄養士訪問指導  
PTA生活補導部会

※いろいろな行事を中止にせざるを得なくなっています。上の行事予定表を見ていただいても、小さな四角で事足りません。  
※緊急事態宣言の解除は始まってきていますが、一般的な生活の仕方については、これまで同様制限（自主規制）がかかっているような状態です。  
※また、度重なる臨時休業によって、学習の進捗についても、遅れが見られています。積み残しをださないために、夏季休業も短くすることが予測されます。  
※現状では3密となる行事については実施が難しい状況です。準備にかかる時間も十分とは言えません。一生のうちで、一度しかない一年です。制限の中で、できることをできる限りおこなっていきたくと考えています。